

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和4年 1月 27日

事業所名：放課後等デイサービスウイズ・ユー尼崎額田

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○十分確保できている	はい:18	利用定員に応じたスペースは確保できている。今後も安全面に配慮した空間の使い方をとする。
	2 職員の適切な配置	○トイレ、食事など個別の支援が必要な児童には担当を配置し、マンツーマンの支援を行っている。	はい:15 わからない:3	今後も個別支援が必要な児童に対しては担当を配置して支援を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	○施設内はバリアフリー化されており、宿題をする部屋、おもちゃのエリア、運動可能なエリアなどエリア分けし、初めて来た児童にもわかりやすいようにしている。	はい:15 わからない:3	今後もわかりやすいエリア分けをしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○療育前に清掃、療育後に整理整頓を行っている	はい:18	今後も毎日清掃、整理整頓を行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○毎日スタッフミーティングの時間を設け、振り返りや情報の共有をし、支援を行っている。		今後もスタッフミーティングに時間を確実にとり、振り返りや情報の共有をして支援を行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	△現在、第三者による外部評価を受けていないが、相談員や関係各所の職員など希望があればいつでも来て見て頂いている。		今後は第三者による外部評価の実施を検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○外部研修に常勤のスタッフは参加している。参加したスタッフが、他のスタッフに研修内容を伝えるようにしている。		今後はスタッフ全員が参加していけるように努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○相談員及び保護者、学校の先生と相談上、個別支援計画書を作成している。		今後も定期的に個別支援計画書を作成する。その際に、学校の先生、相談員、保護者、それぞれの話を聞き児童にとって必要で有用な支援をしていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○相談員及び保護者、学校の先生と相談上、個別支援計画書を作成している。	はい:18	今後も定期的に個別支援計画書を作成する。その際に、学校の先生、相談員、保護者、それぞれの話を聞き児童にとって必要で有用な支援をしていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○相談員及び保護者、学校の先生と相談上、個別支援計画書を作成している。		今後も定期的に個別支援計画書を作成する。その際に、学校の先生、相談員、保護者、それぞれの話を聞き児童にとって必要で有用な支援をしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○個別支援計画書は全てのスタッフが目を通し、必要な支援の情報を共有し、日々の療育を行う上での指針にしている。	はい:17 わからない:1	個別支援計画書を作成する際にそれぞれの児童に関して、スタッフミーティングを行い、支援計画を作成する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	△参加する児童の能力が異なるため、全体で活動することは難しいが、それぞれの児童の能力に合わせ、参加できるように工夫している。	はい:12 どちらともいえない:1 わからない:5	能力が異なる児童と一緒にできることを考え、また、全員が参加できるように工夫していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○それぞれ限られた時間の中で、季節、時間に応じた活動のプログラムを考えて行っている。		季節ごとのイベントに即した工作や催しものなど企画する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○児童の特性に合わせ、様々な活動を選択していけるように工夫している。		今後も選択の幅を広げられるように工夫する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○毎日スタッフミーティングの時間を設け、その日の支援内容やスタッフの役割分担の確認を行っている。		引き続き、毎日スタッフミーティングの時間を設け、その日の支援内容やスタッフの役割分担の確認を行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	△その日のうちに情報を共有化することはできていないが、次の日の支援開始前までに情報の共有化を行っている。	支援終了後の情報の共有化は難しいので、次の日の支援開始前までの情報共有を徹底する。また、重要事項は随時情報を共有できるような方法を検討する。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○毎日、個人ケア記録をつけている。	引き続き個人ケア記録をつけていく。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○6ヶ月毎に見直しを行っている。	6ヶ月毎の見直しを継続する。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○担当者会議にも必要に応じて参加している。また、随時相談員と連絡を取り合い、その児童の状況に合わせた支援を行っている。		引き続き相談員と連絡を取り合うと共に随時会議へ出席する。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		該当者を受け入れたときに対応する。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		該当者を受け入れたときに対応する。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	×現在、行っていない。		今後、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等に対して働きかけを行っていく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当しない		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○児童発達支援センターへ見学に行き、指導を受けている。発達障害の専門家による研修に定期的に参加している。		引き続きサービス提供時間以外で行われる専門家による研修には積極的に参加する。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	○他の施設等との交流はないが、商業施設、公園などへ行って障害のない子どもと活動する機会を提供している。	はい:9 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:7	引き続き施設外の活動の中で、障害のない子供と活動する機会を提供していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	×現在行っていない。		今後は保護者の希望を確認し、希望があれば検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○契約時、更新時に書面にて説明している。	はい:18	引き続き書面にて説明する。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○契約時、更新時に書面にて説明している。	はい:18	引き続き書面にて説明する。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	△ペアレント・トレーニングなどは行っていないが、施設で上手くいった対応方法等の情報を共有している。	はい:12 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:3	送迎時や個別支援計画書の更新の際に声かけを行い、ニーズを掘り起こすようにする。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○毎日、連絡帳を使い児童の状況をお知らせしている。また、送迎時に情報を提供している。	はい:18	引き続き連絡帳や送迎時に情報提供を行う。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	△保護者から連絡があれば行すが、定期的にごこちらから声かけはしていない。	はい:18	今後は送迎時や、連絡を取った際などに声かけを行う。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	×就労している保護者も多いので父母の会などの活動は困難。また、希望の声もない。	はい:3 どちらともいえない:3 いいえ:4 わからない:8	今後は保護者の希望を確認し、希望があれば検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○契約時に苦情の窓口等の説明を実施している。また、随時電話等で相談を受けられるようにしている。苦情があった場合は、すぐにスタッフ全員に周知し、対応している。	はい:15 わからない:3	引き続き、迅速で誠実な対応をする。
	8 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮	○それぞれの児童に合わせて意思疎通の方法をスタッフで話し合い、有効であった方法を情報共有している。保護者に対しても同様にそれぞれの事情に合わせて対応している。	はい:18	引き続き、児童に合わせた対応をしていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○ブログにて活動状況を随時公開している。行事については随時プリントにて告知している。	はい:16 わからない:2	ブログだけではなく、活動概要、行事の予定など情報発信に努める。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	○契約時に同意書で確認している。個人情報の掲載されている書類は施錠できる引き出しに保管している。	はい:17 わからない:1	引き続き個人情報の取り扱いには注意していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○緊急対策マニュアルを策定した際に保護者へ配布した。また、協力医療機関や事故発生時の対応方法、感染症の対応方法など契約時に保護者に説明すると共に、職員にも周知徹底している。	はい:17 わからない:1	今後も毎年保護者に確認して頂けるように、配布する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○今年度、全ての子どもが一度以上参加できるように何日かに分けて実施した。	はい:16 わからない:2	今後も定期的実施する。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○定期的に研修を実施している。		今後も定期的実施する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○現時点では拘束が必要と思われる事例はないが、契約時に説明、確認している。		今後も契約時での確認を続け、必要な事例が発生した場合は、その都度保護者に確認した上で、実行する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○契約時に保護者に確認して、食物アレルギーのある子供に関しては、全スタッフに周知している。		今後も契約時に確認し、食物アレルギーのある子供に関しては、全スタッフに周知する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○事例があったときには、事例集に記入し、スタッフのミーティングで口頭での周知している。		今後も事例があったときには、スタッフ全員に周知する。